

コミュニケーション・サポートルームをご利用された方へ

当センターではコミュニケーション・サポートルームにご相談・ご利用された方のデータを用いた研究を行っています。

【研究課題】 面談中断にかかわる要因の検討

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関 東京大学相談支援研究開発センター

研究責任者 大島紀人

【研究期間】 2022年4月1日～2023年3月31日

【対象となる方】 2011年4月1日～2022年3月31日の間にコミュニケーション・サポートルームを利用された学生（コンサルテーションを除く）1296名。

【研究の意義と目的】

面談を自己中断する要因を検討することを目的とし、面談継続の必要性のある学生の中断を防ぐ方法を考察する。

【研究の方法】

この研究は、東京大学ライフサイエンス倫理委員会の承認を受け（大学の学生支援向上を目的とした、相談施設が保有する臨床情報の解析（3））、東京大学相談支援研究開発センター一長の許可を受けて実施するものです。

方法は、（1）実利用者の面談継続期間（1回、1か月、3か月、6か月、1年以上）の分析、（2）面談継続期間や面談終了理由、特に「自己中断」にかかわる要因を検討します。予測要因には、診断、所属や学年、自主来談か周囲の人の勧奨による来談か、他医療や相談機関利用などを想定しています。さらに、（3）2020年度以降、コロナ禍によるオンライン面談を導入後の変化についても検討します。

【研究における倫理的配慮（インフォームドコンセント、個人情報保護、資料の取扱等）】

「大学の学生支援向上を目的とした、相談施設が保有する臨床情報の解析（3）」で申請承認された通りです。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事務局まで2023年1月31日までにご連絡ください。連絡をいただいた日以後の研究にはあなたのデータを使用しません。しかし、連絡を受けた時点で解析、学会発表、論文投稿等がすでになされていた場合、これらを修正するのは困難であるため、連絡日より前に遡ってデータを削除したり解析を修正したりはしません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。

収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後、（5年間保存されます）。

【問い合わせ先】

東京大学相談支援研究開発センター コミュニケーション・サポートルーム 助教
川瀬英理

住所：東京都文京区本郷7-3-1
電話：03-5841-0839（内線20839）